



図-21 St-4、表層でのNO3-Nの変化と観測値の度数分布

資料提供：環境省 水質汚濁対策課 水質調査課 水質調査班 水質調査班長 水質調査班員

PO4-P 過去の観測値は0-0.1の範囲に85%が収まっており0.1以上の値は散発的に出現している。1988年の観測値は5月にSt-1下層0.26、9月にSt-1表層0.22、同下層0.36、St-2下層0.60と突出した値が出現した。

NH4-N 過去の観測値は大半が0-0.9の範囲内にあり1.74がとび抜けて最高であったが、1988年9月にSt-1表層1.61、同下層1.70、St-2下層1.42と異常とも思える高い値が出現した。

NO2-N 9月の観測値がすべて0.1以上と高かったが過去の変動幅内に収まっている。

NO3-N NO2-N同様9月に比較的高くなったが過去の変動幅内に収まっている。

要約

- (1) 藻場の季節変化を把握するため定点で海草の生育範囲と密度を調べた。生育範囲に大きな変動はなく、密度は7月に最高で12月に最低となった。
- (2) 定生動物調査を1988年9月、及び1989年1月に行った。出現動物総量は1月が多く60-300g/m²となった。